



喜小だより



令和5年11月13日発行 発行者 黒田敦子

自ら学ぶ子 思いやりのある子 健康な子 一人一人がきらきら輝く喜連川小学校

喜小に読書の秋・スポーツの秋が到来！

秋は実りの季節。これまで積み重ねてきた児童の学校生活の学びが成果となって見え始めます。「〇〇さん、成長したね。」「☆☆さん、以前と比べると変わったね。」と、これまでのホップステップを経て児童がジャンプする時期でもあります。毎日見ているので気づきにくいですが、お子さんは、昨年の今頃と比べると様々な面で成長し、少しずつ手が離れている感じがするのではないでしょうか。



さくら市の4読

そして、気温も天気も安定して教育活動に絶好のこの季節は、「機をとらえて様々な体験を」ということで、読書活動や持久走にも力を入れています。特に、家庭や学校でのすき間時間の読書を奨励しています。1日15分でも、1年なら5475分(約90時間)本が読めます。持久走は、走った距離をタブレットで入力すると、さくら市内のどのあたりまで走れたかがわかるがんばりカードで意欲付けをしています。お子さんに「今ほどのあたりなの?」と聞いてみてください。お家の方の言葉が意欲につながって、頑張る力になると思います。

【休み時間の図書室】



【持久走(スポッチャ・体育の授業)】



★被爆体験講話 5年生 10月20日★

児童の教材には、戦争や原爆を扱ったものや、それらを背景にしたものがあります。しかし、今は児童の両親世代も祖父母世代も戦争体験者ではありません。児童は事実を知ったとしても、実感をともなって考えるのは難しいと思います。その時代の生活や人々の気持ちに想像力を働かせて近づくために、那須烏山市にお住まいの嶋田貴子さんが講話してくださいました。嶋田さんは広島生まれで、お父さんは原爆の被爆者です。

嶋田さんは、学校の校庭で、児童がサツマイモを栽培して食料にしたことや、原爆投下時の様子、その後の広島の悲惨な状況などについて、写真資料や絵を示しながら説明してくださいました。

児童が、時折悲鳴を上げたり目を覆ったりしながら真剣に耳を傾ける様子を見て、語り継ぐことの大切さを実感しました。



★おにぎりの日 10月18日★ ~保護者のみなさんご協力ありがとうございました~

今年度第1回目のおにぎりの日でした。朝から「給食の時間が楽しみ。」とロ々に言っていた子どもたちです。中には、具当てクイズを出してくれる子もいて、「明太マヨ。」「はずれ。」「シヤケ。」「当たり。」と盛り上がりました。給食の時間になると、それぞれのご家庭のおにぎりをおいしそうに食べていました。お家の人と一緒ににぎった子もいて、自分でにぎったおにぎりは格別の様子でした。



★保護者・地域のみなさまお世話になります★

勤労感謝の日が近づいてきました。喜連川小学校は、地域の皆様に応援していただいて、児童の教育活動がとても充実しています。地域の子どもたちを地域のみなで育てる、という雰囲気を感じられ、大変ありがたいことです。多くの大人の人に関わっていただいて、児童は健やかに育っていくのだな、と実感します。

- ・喜連川交番のおまわりさん ・交通指導員のみなさん ・スクールバスの運転手さん
- ・学校支援ボランティアのみなさん ・給食センターのみなさん
- ・スクールサポーターのみなさん ・喜小っ子ふれあいスクールのみなさん
- ・民生委員・児童委員のみなさん ・学校運営協議会のみなさん
- ・保護者の皆さんや地域にお住まいのみなさん

数えあげたらきりがありますが、これからも児童の成長を見守ってくださいますようお願いいたします。



美しいと思います。
桜の老木もまた、とても
切りに、切り倒された
ために、切りに、切りに
未来に並木をつないでい
くために、切りに、切りに
優しく迎えるでしょう。
わって、また多くの人を
の思いがあふれます。やがて並木は生まれ変
わって、また多くの人を



桜並木をくぐって何年喜連川に通ったこと
でしょう。嬉しい日も悲しい日も、並木を通り
ながら深呼吸すると、桜に見守られている気
がして落ち着くので、大好きな道でした。
夏前に桜は片側だけになり、とても悲しげ
に映りましたが、今はもう片方も命を全うし、
むしろ深く感じます。「長い年月ありがとう」
の思いがあふれます。やがて並木は生まれ変
わって、また多くの人を

哀れかな 腕をもがれた 片桜
命託さん 子らの未来へ
いのちたく

校長室の窓から

167万アクセス突破！！

児童の活
動の様子は、こちら
のQRコードから
→



喜小だよりのカラ
ー版は、こちら
のQRコードから
→

